



大学 e ラーニング協議会ニューズレター

発行所：大学 e ラーニング協議会

TEL: 0123-27-6044

事務局：〒066-8655

FAX: 0123-27-6007

北海道千歳市美々758 番地 65

E-mail: uela-office@uela.org

千歳科学技術大学 教育連携推進課 内

URL: <http://www.uela.org/>

1. UeLA の活動状況

広報委員会委員長 長岡技術科学大学 福村 好美

平成 22 年 8 月 29 日に本年度「第 1 回大学 e ラーニング協議会幹事会」を千歳科学技術大学で開催し、部会の再編と委員会の設置などを決定しました。部会に関しては、従来の 5 部会構成から重点化を図り、システム、コンテンツ、教育支援の 3 分野に関して以下の 3 部会を設置することとしました。

● 第 1 部会：ユーザインターフェイスとシステム連携検討部会

(世話人校：関西大学・熊本大学)

活動内容：e ラーニングシステムの大学内での利用拡大のためにはユーザインターフェイスのデザインが重要な役割を果たします。教員にとっては、授業実施を軸としたワークフローの各段階での操作が分かりやすいこと、学生にとっては、授業との関連が分かりやすく学習が進めやすいことが必要です。さらに、システムを利用した記録やデータが蓄積され、教員にとっては教育活動の評価に、学生にとっては学習達成度の記録に利用できることも必要です。これには e ラーニングシステムと、教務システム（学生情報システム）や e ポートフォリオシステムなどとのシステム連携が必要となります。

この部会では、日本の教育学習環境に適した、教員・学生にとって使いやすいユーザインターフェイスのデザインとシステム連携のグランドデザインを検討します。各大学で利用されている e ラーニングシステムのユーザインターフェイスや関連システムの連携に関する事例や利用経験の情報交流を図り、実現したいデザインに関する意見交換の場を目指します。

● 第 2 部会：ポートフォリオによる教育支援検討部会

(世話人校：電気通信大学・佐賀大学・信州大学)

活動内容：多くの大学で e ラーニングや学習支援ツールとしてのポートフォリオの導入が図られています。しかし、そこで取得できる様々な学習ログ・活動履歴を有機的に結びつけ、個に応じた適切な学習支援を実現するに至る事例は決して多くはありません。本部会では、ICT 活用で得られる様々な学習支援データの有効活用方法について、参加大学の実践的な事例を参考に引き纏め、この分野での日本の大学の進むべき方向性を検討していきます。

● 第 3 部会 教材共有検討部会

(世話人校：千歳科学技術大学・金沢大学)

活動内容：e ラーニングを推進する上では、教材の整備が必要不可欠となります。教材自体は、各大学の教育事情に応じて整備されるべきもので、一元的に大学間で利用できるものにはなりにくいのも事実です。しかし、リメディアル系やキャリア支援系等の共通基盤教材や、教育素材的なものは、内容的・用途的にも十分共有可能でもあります。そこで、本部会では、こうした利活用可能な教材・素材を具体的に検討し、実際に実践可能な大学間で提供しあえるルール作りを検討し、試験的な運用を試みます。なお、教材維持の持続可能性という視点から、産学連携の枠組みも積極的に検討し、民間への流通許諾の検討も行っていきます。

また、協議会全体に関わる事項として、e ラーニングの実践事例の情報収集と、広報活動について、新たに下記の 2 つの委員会を設置することになりました。

なお、正式な委員会の発足は来年 3 月の総会后とし、それまでの間はワーキンググループ的位置付けで活動を進めていく予定です。

● eラーニング活用事例調査委員会

委員長：帝塚山大学 中嶋 航一
委員：金沢大学 堀井 祐介、森 祥寛
委員：千歳科学技術大学 小松川 浩
委員：金沢電子出版 佐藤 伸平、鈴木 恒雄

活動内容：eラーニングの活用事例を大学間で共有することは、成功例・失敗例含め、今後各大学がeラーニングを推進していく上で多くの参考になる情報を提供してくれます。

本委員会では、加盟大学のeラーニングの活用事例・状況について、アンケート調査を行い、取りまとめを行います。調査は、年に1・2回行い、各部会の内容も取りまとめて実施いたします。

● 広報委員会

委員長：長岡技術科学大学 福村 好美
委員：千歳科学技術大学 小松川 浩

活動内容：広報委員会では、本協議会の部会取組み状況、参加機関のベストプラクティス、関連する国内外eラーニング情報などについて、ニューズレターあるいはホームページを通じて情報提供する予定です。皆様からのご意見なども積極的に取り上げていきたいと考えておりますので、投稿などご協力をよろしくお願いいたします。

また、上記幹事会の前日（8月28日）には、教育システム情報学会第35回全国大会の協賛で、本協議会が公開フォーラムを開催しました。「何故、高等教育機関にeラーニングが根付かないのか」をテーマに100名を超える参加者があり、活発な議論が行われました。

ご参加いただいた皆様に感謝いたします。

2. 大学eラーニング協議会 全体ミーティング（ご案内）

- 日 時：平成22年12月12日（日）
 - 全体ミーティング 13:00～17:10
 - 情報交流会 17:30～19:30

- 場 所：大手前大学 さくら夙川キャンパス（メディアライブラリーCELL）
兵庫県西宮市御茶家所町6-42

- 次 第：10:30～12:00 幹事校ミーティング（会場：CELLカンファレンス）
 - 13:00～13:10 会長挨拶
 - 13:10～14:10 大手前大学紹介（会場：CELL001）
 - ・ICT活用事例紹介
 - 14:10～14:25 休憩
 - 14:25～16:00 全体ミーティング（会場：CELL001）
 - ・部会再編ならびに委員会（仮）設置について
 - ・総会・フォーラム2010（金沢大学）について
 - ・各部会活動報告、予定
 - ・アンケート集計結果報告
 - 16:10～17:10 部会ミーティング（会場：CELL001、CELL002、CELL003）
 - ・第1部会
 - ・第2部会
 - ・第3部会
 - 17:30～19:30 情報交流会（会場：未定）

※幹事校については、10:30～12:00で幹事校ミーティング（会場：CELLカンファレンス）を予定しております。

3. 総会・フォーラム 2010（ご案内）

- テーマ：eラーニングから教育の質保証につなげる eペダゴジー（e-Pedagogy）へ
- 趣 旨：現在、様々な形で実践されている eラーニングであるが、残念ながら、高等教育における十分大きな動きとはなり得ていない。しかし、近年、特に関心が高まっている教育の質保証の観点から、eラーニングが非常に有効なツールであることは間違いない。そこで、今回は、教育工学の分野で、eラーニング教育の質改善を目指す取り組みであり、その成果が注目されている eペダゴジー（e-Pedagogy）をキーワードとして取り上げ、eラーニング実践における問題点共有、情報交換、情報整理を行いたい。
- 日 時：平成 22 年 3 月 25 日（金）
13:00～13:30 総会（会場：自然科学棟レクチャーホール）
※総会の出席は加盟大学のみとなります
13:30～18:30 フォーラム（会場：自然科学棟レクチャーホール他）
- 会 場：金沢大学 角間キャンパス 石川県金沢市角間町
- 参加費：フォーラム 会員大学（賛助会員含む） 無料
非会員大学（機関） 資料代込み 1 人 1,000 円
- 懇親会：3,000 円
※フォーラム参加費・懇親会費は当日受付にてお支払い下さい。
- プログラム（予定）

(会場：自然科学棟レクチャーホール)
13:30～13:40 会長挨拶
13:40～13:50 文部科学省担当者挨拶
13:50～14:40 基調講演（加藤由香里氏 東京農工大学大学教育センター准教授）
14:40～14:50 休憩、移動

(会場：自然科学棟レクチャーホール、AV ホール、大講義室 A ブロック、大講義室 B ブロック)
14:50～15:50 個人研究発表
15:50～16:00 休憩、移動

(会場：自然科学棟レクチャーホールおよび AV ホール)
16:00～17:00 第 1 部会報告 | 第 2 部会報告
17:00～17:10 休憩、移動
17:10～18:10 第 3 部会報告 | eラーニング活用事例調査委員会報告

(会場：自然科学棟レクチャーホール)
18:10～18:20 総括
18:20～18:30 閉会挨拶

(会場：自然科学図書館棟「すみれ亭」)
18:40～ 懇親会

※プログラムについては、現時点の案であり、当日変更される可能性があります。
※幹事校については、11:00～12:00 で幹事校ミーティングを予定しております。

4. 事務局からのお知らせ・お願い

● 「総会・フォーラム 2010」における個人研究発表募集について

この度、当協議会では総会・フォーラムにおける新しい試みとして、eラーニング実践に関する個人研究発表を募集することになりました。

当協議会では、以下の3つの部会及び2つの委員会を中心に活動を行っており、総会・フォーラムは当協議会の一年間の活動のまとめと位置づけられています。

- ・第1部会：ユーザインターフェイスとシステム連携検討部会
- ・第2部会：ポートフォリオによる教育支援検討部会
- ・第3部会：教材共有検討部会
- ・eラーニング活用事例調査委員会
- ・広報委員会

個人研究発表は、1人20分程度で、部会の報告とは異なり、所属大学でのeラーニング実践の成功例、失敗例などをご紹介いただき、参加者間での問題点共有、意見交換等を通して、それぞれの取り組みの更なる発展へとつなげることを目的としています。

1. 個人研究発表募集期間：11月8日（月）～12月28日（火）
2. 募集要項：発表タイトル（40字以内）、発表内容要旨（200字以内）を下記提出先までメールでお送りください。
3. 応募先：大学eラーニング協議会

代表幹事校 金沢大学 大学教育開発・支援センター
評価システム研究部門 堀井 祐介
TEL：076-264-5858 FAX：076-234-4172
e-mail：horii@staff.kanazawa-u.ac.jp

※なお、発表していただく方には、**1月31日締め切り**で、総会・フォーラム当日配布予定の資料集用に原稿（A4で2枚～4枚）を提出していただきます。

皆様の積極的な応募をお待ちしています。

● 事務局への関係書類の提出について

大手前大学で開催される、「全体ミーティング」の参加申込書及び部会再編に伴う「所属部会登録票」について、**11月19日（金）迄**に所定の様式にて、FAXまたはメールで事務局へご連絡願います。

● 会費納入のお願い

2010年度、会費未納の機関は、納入をよろしくお願いたします。

振込口座 銀行名：北洋銀行 支店名：千歳中央支店 口座番号：普通 4126901
口座名義：ダイアクイラーニングキョウカイ 大学eラーニング協議会

※昨年度より振込口座が変更になっておりますのでご注意願います。

● 加盟大学イベント案内

加盟大学主催のフォーラム等の案内をホームページ上でご案内させて頂いております。掲載を希望する大学は事務局までご連絡下さい。

加盟大学イベント案内 URL <http://www.uela.org/src/activity/activity.html>

大学eラーニング協議会ニュースレター No.2 2010年11月08日

発行所：大学eラーニング協議会

事務局：〒066-8655

北海道千歳市美々758番地65

千歳科学技術大学 教育連携推進課 内

TEL: 0123-27-6044

FAX: 0123-27-6007

E-mail: uela-office@uela.org

URL: <http://www.uela.org/>